



# コモンズ30 +しづぎんファンド

〈月次報告書〉



## ● 基準価額の推移



## ● ファンドのデータ

(2019年11月29日付)

基準価額	12,960円
純資産総額	758百万円

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述の「コモンズ30+しづぎんファンドの費用について」をご覧下さい)。

※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により遞減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.265% (消費税込)です。

## ● 分配実績(1万口あたり、税引前)

第1期 (2015年12月18日)	0円	第2期 (2016年12月19日)	0円	第3期 (2017年12月18日)	0円	第4期 (2018年12月18日)	0円
----------------------	----	----------------------	----	----------------------	----	----------------------	----

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。  
※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。

## ● 基準価額(税引前分配金を再投資したものとして算出)の騰落率 (2019年11月29日付)

過去1ヶ月間	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
▲0.09%	14.09%	12.15%	1.87%	21.58%	29.60%

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

## ● ポートフォリオの構成比

	当月末	前月末比
コモンズ30ファンド (マザー)	92.3%	0.1%
静岡銀行株式	8.1%	0.1%
現金等・その他	▲0.4%	▲0.2%
構成銘柄	31社	0社

## ● 運用状況(コモンズ30マザーファンドについての記載となります)

### ◎ 11月の個別銘柄リターン

11月のマザーファンドの月間リターンは、0.03%の上昇、当ファンドの月間リターンは▲0.09%の下落となりました。銘柄別の月間リターン上位3銘柄は、「シスメックス(+7.06%)」、「日立製作所(+5.68%)」、「丸紅(+5.54%)」となりました。シスメックスと日立製作所は、ともに2020年3月期第2四半期決算発表において通期の利益予想を下方修正しましたが、シスメックスは新興国市場での販売が、日立製作所はIoTプラットフォーム「Lumada」の販売がそれぞれ順調に進んでいることが好感されたようです。丸紅は、2020年3月期第2四半期は前年同期比で減益の決算となりましたが、通期の利益計画達成に向けては順調な進捗が確認できたとの見方から、株価は堅調に推移しました。下位3銘柄は、「資生堂(▲11.85%)」、「味の素(▲11.43%)」、「楽天(▲8.57%)」となりました。資生堂は、2019年12月期の通期の利益計画を下方修正しましたが、それまで市場の期待値が高まっていたこと也有て失望が広がりました。味の素は、アフリカ食品事業に関連する減損損失等を計上したことにより、2020年3月期の通期利益計画を大幅に下方修正したことが嫌気されました。楽天は、ZホールディングスとLINEの経営統合によって同社の事業における競争激化への懸念が高まりました。なお、ベビーファンドで直接投資している静岡銀行株式の月間騰落率は0.12%の上昇でした。

アナリスト 原嶋 亮介

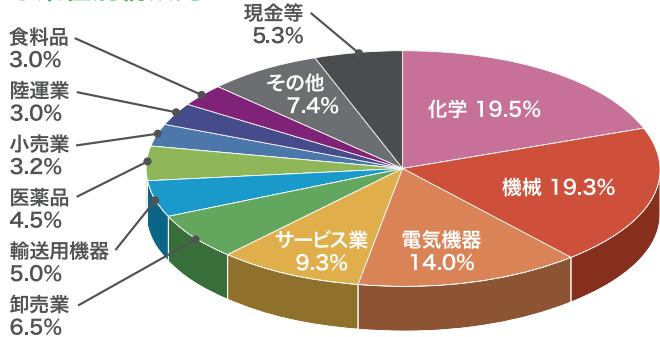
### ◎ 運用責任者メッセージ

11月の内外金融市場は、米中協議の一進一退に振らされる展開となりましたが、米国ではNYダウはじめ主要指数が揃って史上最高値を更新するなど、世界的な株高のトレンドは維持されました。国内株式市場も、米国株高などを背景に外国人投資家の買いが継続し、小幅な上昇となりました。当ファンドは▲0.09%の下落、マザーファンドの投資先30銘柄中17銘柄が値上がりとなりました。TOPIX(東証株価指数;配当込)は+1.94%、日経平均株価も+1.60%の上昇でした。当ファンドは9月、10月と2ヵ月連続での6%台の上昇となった反動が少し出た印象です。昨年は秋から年末にかけて世界的に株式市場は大きく下落しましたが、そのきっかけは米国中央銀行による政策金利の引き上げでした。今年は、世界的な金融緩和局面となっており昨年のような警戒感は後退しています。国内では、10兆円を超える経済対策が検討され始めています。どの国も政治情勢は不透明ですが、2020年に向けての緩やかな景気回復を株式市場は織り込み始めています。世界の成長を取り込める力のある企業が多く組み入れられている当ファンドに、引き続き、ご期待ください。

最高運用責任者 伊井 哲朗

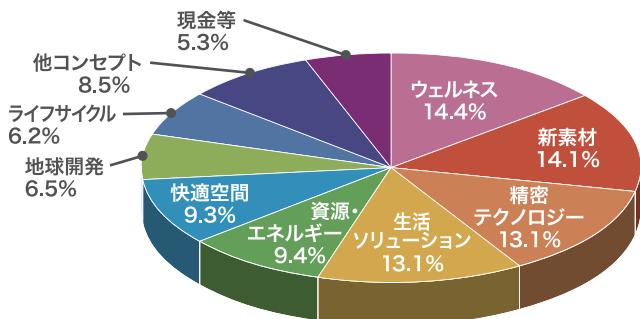
## ● コモンズ30マザーファンドの業種別構成比と未来コンセプト別構成比

### ◎業種別構成比



### ◎未来コンセプト別構成比

(2019年11月29日付)



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

## ● 組入上位10銘柄(静岡銀行株式を除く)

(2019年11月29日付)

コード	銘柄名	未来コンセプト	概要	組入比率
4523	エーザイ	ウェルネス	患者家族まで心を配る徹底したステークホルダー経営	4.5%
6146	ディスコ	精密テクノロジー	kiru、kezuru、migaku、世界を代表する精密加工装置メーカー	3.8%
8113	ユニ・チャーム	ライフサイクル	世界企業と切磋琢磨し、空白地帯で成長	3.7%
8035	東京エレクトロン	精密テクノロジー	創業時のエネルギーが、脈々と続く「革新」を続ける会社	3.6%
6367	ダイキン工業	快適空間	世界一快適な空気をつくる	3.6%
4911	資生堂	ウェルネス	銀座も、アジアも、美しく	3.6%
6326	クボタ	地球開発	日本で培った競争力で、アジアの食糧問題に寄与	3.6%
6501	日立製作所	社会インフラ	インフラとITをつないで、世の中を便利にする	3.5%
6856	堀場製作所	精密テクノロジー	「おもしろおかしく」、時代に合わせて領域を拡大	3.5%
2371	カカクコム	生活ソリューション	インターネットユーザーに「便利」を届け続ける	3.5%

◎未来コンセプトとは 当ファンドが独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」

## ● 新規組入投資先

なし

## ● 今月のピック!

11月は三菱商事の株価が3.69%上昇しました。上旬の決算発表で、2020年3月期通期の1株配当予想を125円から132円に上方修正したことが好感されました。自己株式取得が順調に進んでいることなどが背景にあります。決算発表では、通期の当期利益予想を下方修正(従来の6,000億円→5,200億円)するなかでの増配であり、株主重視の経営という点で評価されます。なお、下旬に同社は中部電力と共同でオランダの電力会社エネコの買収に向けて優先交渉権を獲得したと発表しました。買収額は約5,000億円、買収資金は手元資金でまかないます。エネコは、欧州で陸上風力・洋上風力を中心とした再生可能エネルギーによる発電、電力トレーディング、電力小売りまで手がける総合エネルギー会社。2018年の当期利益は約160億円で、今後年間10%程度の成長を目指す計画です。買収後のシナジーについては、洋上風力の日本や米国における展開、小売りの顧客基盤を生かした蓄電などの事業展開が期待されます。

シニア・アナリスト 上野 武昭

## ●企業との対話

～コモンズ30塾 企業との対話サスティナビリティレポートを読み解く

コモンズ30ファンド投資先企業 ダイキン工業をお招きして～

「この百年で最も影響力のある発明はエアコン」故リー・クアンユーシンガポール元首相

ダイキン工業の主力事業である空調事業は150カ国以上に事業展開し、海外売上高比率は76%。リーマンショック後、9期連続で増収増益を続け、足元でも最高益を更新しています。地球規模の気候変動と温暖化により、エアコンへの需要は高まっており、同社では2050年の空調需要は現状の3倍に上ると予測しています。一方、エアコンは多くの電力を消費することやエアコンの冷媒には温室効果があることから、環境負荷低減への取組が欠かせません。同社はそうした観点から、事業報告を中心とするアニュアルレポートに加え、サスティナビリティレポートも発行しています。<https://www.daikin.co.jp/csr/report/>



今回はそのサスティナビリティレポートに焦点をあて受益者のみなさまと共に読み解くワークショップを開催しました。同社が策定した「環境長期ビジョン2050」では「温室効果ガス排出実質ゼロをめざしながら安心で健康な空気空間を提供」という目標を掲げています。製品の省エネ化/エネルギー・マネジメントによる建物と一緒に省エネや再生可能エネルギーの効率的運用/市場での冷媒転換や回収・再生、森林保全などです。レポートでは、短中期・長期で具体的な取組について紹介されています。御登壇頂いたコーポレートコミュニケーション室 経営IRグループ 担当課長山田 香織さまにこれらについて詳しくご説明いただきました。

参加者からは「レポートは事実ベースの内容が多く良かったです。来年も読みたいと思います。」「レポート類だけではわかりにくいダイキンさんがこだわって大切にしていること、未来に向かったチャレンジなどが聞けました。」「各国地域で、空気に対する感じ方が違うのだと知り、とても興味深く感じました。もっとその事でお話を伺いたいくらいでした。外に出す熱を再利用する事もとても興味深かったです。」「グローバルブランドをさらに高めてほしい」といった声をいただきました。コモンズ30塾は投資先企業、お客さま、コモンズの3者による価値共創の場と位置づけており、こうした機会を今後も多く設けていきたいと考えています。

マーケティング部 福本 美帆

## ●ちょっといい話

### 【アクティーブファンドは、売買しない】

先月のコラムで、この秋の株高局面は海外投資家が大幅に買い越し、個人投資家が大幅に売り越していることをお伝えしましたが、11月も同様でした。海外投資家が大幅買い越しとなる一方で、個人投資家は、9月以降で約2.2兆円の売り越し、投資信託をみても1兆円近い売り越しとなっています。個人投資家の売りを外国人投資家が吸収しての相場上昇となっているわけです。さて、ご自身で株式を売買される場合は、タイミングを計ることも必要です。インデックスファンドやETF(上場投信)も同様です(個人的には株式もインデックスファンドも長期投資、つみたて投資をお勧めしています)。しかし、アクティーブファンドは違います。プロのアナリストやファンドマネジャーが日々、運用に取り組んでいますので、相場全体や個別株に大きな変動があれば対応しますし、その前から準備をしているものです。こうしたアクティーブファンドをタイミングを計って積極的に売買する方もいますが、これはプロのシェフが作った料理に、自分でソースやケッチャップなどを沢山かけて味を大幅に変えてしまう行為と同じに見えます。ご自身での株式投資やインデックスファンドへの投資は、BBQのように自分で食材を用意して火加減や焼き加減を注意してつくる料理と同じで、これはこれで美味しいのですが、プロの料理人がレストランで食材を厳選し、プロ用の調理器具も駆使してチームで作り上げる料理に、お客様が手を加えては、美味しいものも不味くなってしまいます。運用者が頑張るアクティーブファンドは、どうぞプロにタイミングも含めてお任せください。プロが手塩にかけて造るアクティーブファンドを長期で、つみたてで投資を続けることが、美味しく食べる秘訣です。私たちは長期で、つみたてで資産形成を成功されている方を沢山、見てきています。一方で、タイミングを捉えて売買されている方が資産を殖やせていないケースも沢山、見てきました。つみたて投資であればタイミングを計る必要もありませんし、そもそも、コモンズ30+しづぎんファンドは、相場環境に左右されることなく長期的に企業価値を高めていける企業ばかりを厳選しています。もちろん、資金が必要になった時は換金してご活用ください。資金が必要となるその時まで、私たちはしっかりとお預かりした資産を育てて参ります。引き続き、長期、つみたて投資でコモンズ30+しづぎんファンドをよろしくお願ひ申し上げます。



コモンズ投信株式会社  
代表取締役社長 伊井 哲朗

## ● コモンズ30+しづぎんファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。お客さま(受益者)には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくお願い申し上げます。なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

価格変動リスク	当ファンドは実質的に国内外の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
為替変動リスクおよび カントリーリスク	外貨建資産を組入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失を生ずることがあります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、当ファンドの基準価額が大きく変動するリスクがあります。

## ● その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部戻戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。

## ● 販売会社一覧

販売会社名称	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	日本商品先物取引協会
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第5号	○	○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第10号	○		

## ● コモンズ30+しづぎんファンドの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.3%（消費税込）が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.265%（消費税込）を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により遞減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額に対して年0.11%（消費税込）を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料（費用）等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

## ● お申込みメモ

商品分類	追加型投信/内外/株式
信託設定日	2014年12月29日
信託期間	無期限（ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることができます。）
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日目
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。

○当資料は金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。○投資信託は設定・運用を投資信託会社が行う商品です。

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さんに情報提供を行なう目的で作成したものです。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、コモンズ投信または委託会社が指定した販売会社でお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご確認のうえ、ご自身の判断でお申込下さい。

金融商品取引業者  
関東財務局長(金商)第 2061 号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会

コモンズ投信株式会社  
〒102-0093  
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階

委託会社お問い合わせ先

■コールセンター（受付時間／平日 9時～17時）  
**03-3221-8730**

■ウェブサイト  
<https://www.common30.jp/>